



浄化槽長寿命化計画策定 推進事業

2019年度予算（案）18百万円（新規）
平成30年度第2次補正予算（案）60百万円

環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室

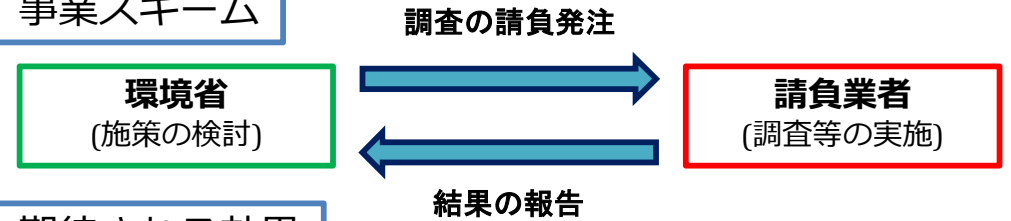
背景・目的

- 設置後40年以上経過し、破損等により汚水が適正に処理されていない単独処理浄化槽が増加。合併処理浄化槽についても設置後30年経過し、破損が発生した場合の土壌や地下水の大腸菌群の流出等、生活環境の悪化が懸念される。
- 生活環境の保全に向けて、浄化槽の破損や不適正の発生を予測・予防し、設備更新や維持管理の厳格化など、適切な処置を講じる必要がある。
- ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえ「浄化槽長寿命化計画」策定ガイドラインを作成し、浄化槽の計画的・効率的な更新、修繕、管理の最適化を推進する必要がある。

事業概要

- 浄化槽長寿命化計画策定のためのガイドラインの検討、作成

事業スキーム



期待される効果

- 浄化槽の計画的・効率的な更新、修繕、管理の最適化を推進することで国土強靱化および災害対応力の強化を図る
- ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化を図る

イメージ

データ解析

個別計測データ
浄化槽台帳

ガイドライン策定・公表

浄化槽長寿命化
計画ガイドライン
更新
に基
政計
の促進
20xx年x月

市町村において 長寿命化計画を策定



現状

既設単独浄化槽の約30%
が設置後40年経過



最悪の事態



浄化槽長寿命化計画ガイドラインを策定・公表

ガイドラインに沿って市町村が長寿命化計画を策定
→ 浄化槽の計画的・効率的な更新、修繕等を実施し、
国土強靱化および災害対応力の強化を図る